

南アフリカ為替週報

2023年5月4日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(4月27日～5月3日)

USD/ZAR: 18.2179～18.5075

ZAR/JPY: 7.25～7.50 (参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は対ドルで18.0から18.4の狭いレンジ内の推移が続いている。対円相場ではドル・円が植田・新日銀総裁の体制下での初会合を経て大幅に円安が進行したことを受けて、今年4月初頭以来となる7.50円をいったん回復した。

先週1週間では、貿易収支(3月分)や財政収支(3月分)、製造業PMI(4月分)が発表された。取り立てて金融市場への影響が大きかったわけではないが、詳細を見ると南アの需要の持ち直しを示唆する兆候も見られることから、電力不足に対し南アの企業が対応を進めつつあるという解釈も可能であり、南ア経済・金融市場にとってやや明るい材料であったと言える。4月28日に発表された貿易収支(3月分)は69億ランドの黒字と2月分の107億ランドの黒字(133億ランドの黒字から下方修正)から黒字幅が縮小した。通常、南アの貿易収支は1月と2月に輸出が落ち込み3月に輸出が拡大するものの、輸出の伸びは前年比+2.4%と鈍く、一方の輸入は前年比+32.0%と大きく伸びている。石油製品や電化製品、輸送用機器など幅広い品目に渡り輸入が伸びており、南アの需要の持ち直しを示唆する可能性がある。5月2日に発表された製造業PMI(4月分)も49.8と市場予想の48.0を上回り、3月の48.1から持ち直した。依然として景気に対して中立の50を下回ってはいるものの、在庫レベルの顕著な回復は、電力不足によって打撃を受けている供給網が正常化しつつある可能性を示唆するものと言える。

4月28日に発表された財政収支(3月分)は461億ランドの赤字となった。2022～23年度(南アの財政年度は4月～翌年3月)の財政赤字は3,100億ランド(対GDP比約4.7%)となった。2020～21年度の対GDP比10.0%の赤字、2021～22年度の同5.1%の赤字からは着実に改善しつつある。所得税をはじめ税収が伸びたことが大きく寄与している。先行きでは、公的セクターでの賃上げ要求の高まりや、低所得者層の支援ニーズに対応するなかで、いかに政府が支出をコントロールできるかが焦点となる。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
4/28	13:00	貿易収支(10億ランド)	3月	18.0b	6.9b	10.7b
	13:00	月次財政収支(10億ランド)	3月	-51.0b	-46.1b	8.1b
5/2	10:00	製造業PMI	4月	48	49.8	48.1

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(5月4日～5月10日)

USD/ZAR: 17.50～18.60

ZAR/JPY: 7.10～7.70

向こう1週間の南ア・ランド相場は底堅い展開を予想。理由は先週と同様であり、SARBの大幅利上げ継続への期待に加え、VIX指数の低下に表れているようにグローバルな金融環境が新興国・高金利通貨にとって追い風となっているためだ。もちろん、南アフリカの高金利が「悪い金利上昇」の結果であることは意識する必要があるだろう。上述の通り過去1週間に発表された経済指標は南アの経済の先行きに対しやや明るい兆しを感じさせるものであったが、それでも同国の経済活動が電力不足などによって大きく制約を受けている状況には変わりがない。景気低迷が続くなか、インフレ加速を抑えるために金融引き締めを継続せざるを得ない状況は、経済に悪影響を与えるリスクが大きく、持続的でない。こうした状況下で同国の金融市場に流入する資金は逃げ足の速い短期資金が中心になると考えられる。米金利上昇・信用不安再燃などをきっかけに市場環境が悪化に転じる際には、ランドの下落は大きくなりやすい点には注意が必要となる。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

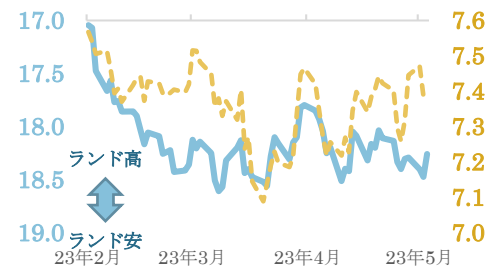
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/4	12:00	電力消費	3月		-4.5%	-8.7%
	12:00	電力生産	3月		-5.6%	-9.7%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

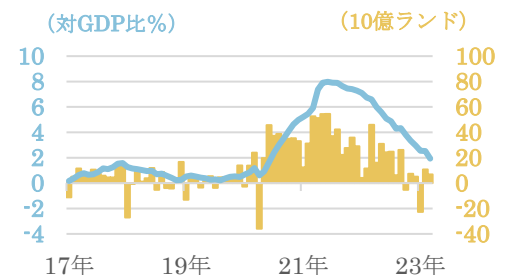
点線: 対円レート(右軸)



貿易収支

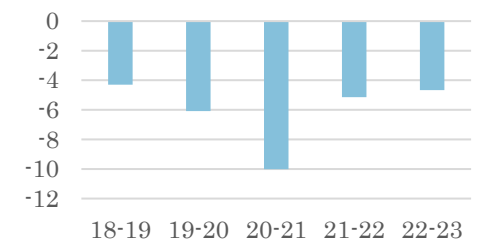
12か月累計値対GDP比率(左軸)

金額(右軸)



財政収支(年度*)

(対GDP比%)



* 南アフリカの年度は4月から翌年3月まで

(資料: 南ア統計局/南ア財務省/ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

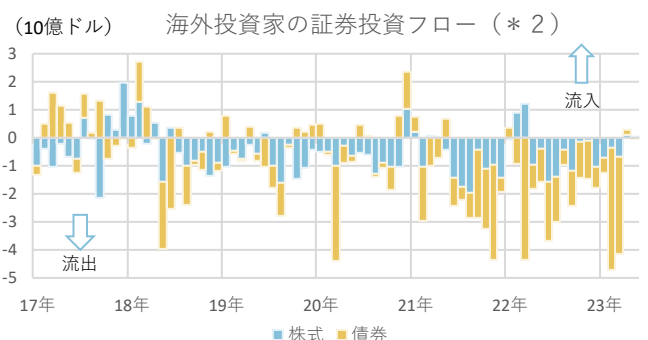
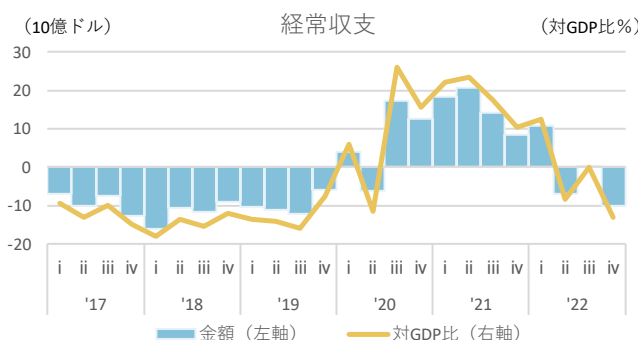
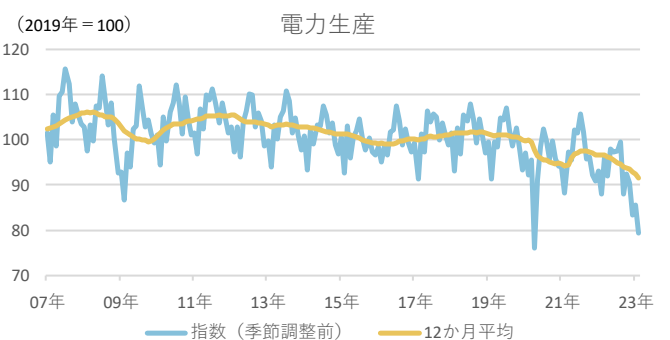
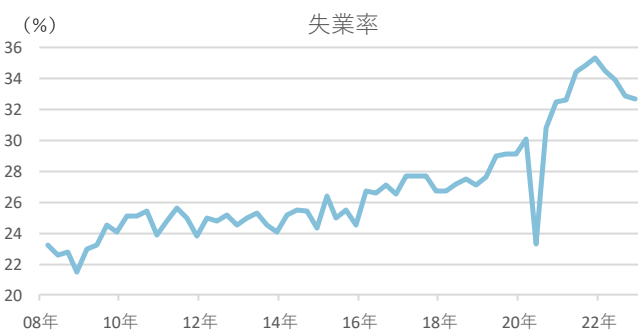
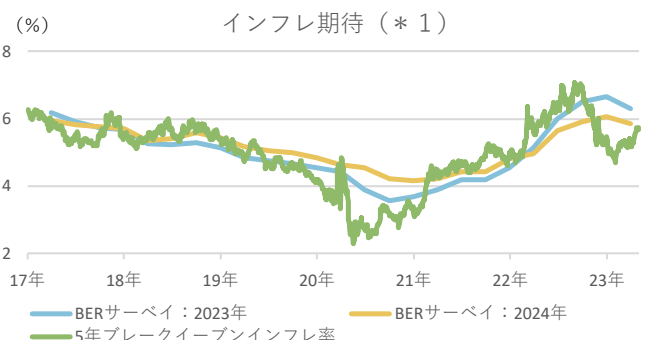
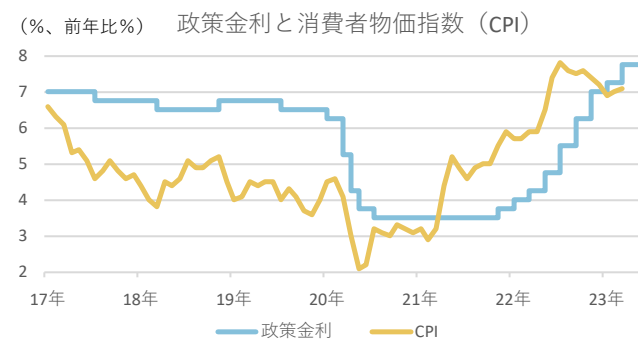
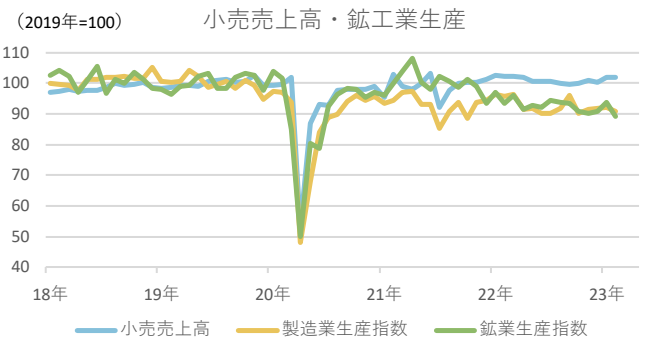
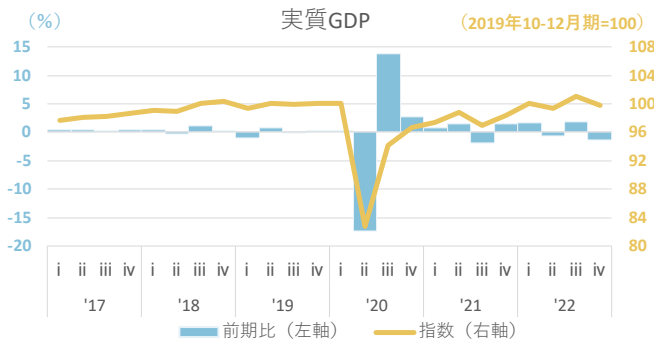
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

南アフリカ為替週報

2023年5月4日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<主要経済指標の推移>



* 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。

経済アナリストや企業などが調査対象となっている。

ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。

* 2 : 月次データ。ただし、2023年5月は1日から2日までの累計値。

(資料 ; 南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。